



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社 日阪製作所 上場取引所 東
コード番号 6247 URL <https://www.hisaka.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長社長執行役員 (氏名) 竹下 好和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部本部長 (氏名) 波多野 浩史 TEL 06-6363-0007
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,001	△4.4	1,180	△35.3	1,654	△28.9	1,526	△22.2
2023年3月期第3四半期	25,105	13.5	1,825	69.8	2,328	57.3	1,961	44.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,448百万円 (28.5%) 2023年3月期第3四半期 1,905百万円 (22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	54.11	-
2023年3月期第3四半期	69.65	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	74,466	58,005	77.6	2,046.95
2023年3月期	70,977	56,302	79.1	1,992.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 57,759百万円 2023年3月期 56,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2024年3月期	-	20.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立80周年記念配当 5円00銭
2023年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創立80周年記念配当 5円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△3.2	1,600	△16.3	2,000	△16.4	1,700	△16.7	60.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2024年2月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	32,732,800株	2023年3月期	32,732,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,515,266株	2023年3月期	4,551,198株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	28,202,108株	2023年3月期3Q	28,164,673株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足資料は、2024年2月14日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報 (IR情報)	9
(1) セグメント別売上高	9
(2) セグメント別受注高及び受注残高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

東欧や中東における地政学的リスクの高まりや欧米における金融引き締め政策の継続などにより、当第3四半期連結累計期間における世界経済は緩やかな減速基調で推移しました。また、個人消費やインバウンド消費の回復など、国内経済は底堅く推移しているものの、エネルギー価格をはじめとした物価高の長期化などにより、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済環境の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの受注高は、前年同期に比べ6.9%増加し28,587百万円となりました。プロセスエンジニアリング事業において前年同期に受注した大口案件の反動減などがあったものの、熱交換器事業では新造船の需要拡大により船舶向けが好調に推移したことに加え、エネルギー関連の大口プラント案件を受注しました。また、バルブ事業では二次電池や産業ガス向けが好調に推移しました。

売上高は、前年同期に比べ4.4%減少し24,001百万円となりました。熱交換器事業では豊富な受注残により船舶向けやメンテナンスが増加しました。また、バルブ事業では大口案件のあった化学向けに加え、二次電池や産業ガス向けが好調に推移しました。一方、プロセスエンジニアリング事業では、前年同期に大口案件のあった医薬機器、染色仕上機器の売上が減少しました。

利益面では、原材料価格の高騰や不採算案件の引当て、新事業所の開設費用などにより、営業利益は前年同期に比べ35.3%減少し1,180百万円となりました。経常利益は営業利益の減少などにより前年同期に比べ28.9%減少し1,654百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に引き続き政策保有株式の縮減を進めたものの前年同期に比べ22.2%減少し1,526百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、中東地域においてプレート式熱交換器のメンテナンスサービスを実施している「HISAKA MIDDLE EAST CO., LTD.」を連結の範囲に含めています。また、同社の対象セグメントは「熱交換器事業」としてしています。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

[単位：百万円/ (%) 前年同期比増減率]

	熱交換器事業	プロセスエンジニアリング事業	バルブ事業	その他事業
受注高	13,437 (23.0%)	11,155 (△5.6%)	3,928 (0.1%)	66 (△4.6%)
売上高	10,866 (8.6%)	9,352 (△18.4%)	3,716 (4.2%)	66 (△4.6%)
セグメント損益	954 (△3.4%)	△81 (※)	352 (7.8%)	47 (△6.9%)

※前年同期は564百万円のセグメント利益

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は74,466百万円となり、前連結会計年度末70,977百万円から3,488百万円の増加となりました。

これは、現金及び預金6,698百万円等の減少があったものの、建物7,608百万円や棚卸資産2,646百万円等の増加が上回ったことによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は16,461百万円となり、前連結会計年度末14,675百万円から1,785百万円の増加となりました。

これは、未払法人税等458百万円等の減少があったものの、仕入債務1,024百万円や繰延税金負債613百万円等の増加が上回ったことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は58,005百万円となり、前連結会計年度末56,302百万円から1,702百万円の増加となりました。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益1,526百万円の計上やその他有価証券評価差額金953百万円等の増加があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2024年2月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,865	8,167
受取手形	906	835
売掛金	6,985	6,442
電子記録債権	2,582	3,536
商品及び製品	2,685	3,340
仕掛品	4,909	5,517
原材料及び貯蔵品	2,299	3,683
その他	199	1,352
貸倒引当金	△160	△9
流動資産合計	35,274	32,865
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,581	13,189
機械及び装置（純額）	1,441	1,925
土地	7,299	7,314
建設仮勘定	4,644	458
その他（純額）	595	1,194
有形固定資産合計	19,562	24,083
無形固定資産		
ソフトウェア	214	164
のれん	79	62
その他	218	318
無形固定資産合計	512	545
投資その他の資産		
投資有価証券	13,284	14,496
退職給付に係る資産	1,406	1,523
その他	937	952
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,628	16,972
固定資産合計	35,703	41,601
資産合計	70,977	74,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,152	3,801
電子記録債務	2,182	2,558
未払法人税等	509	50
契約負債	3,456	4,059
製品保証引当金	259	210
賞与引当金	832	385
その他	1,513	1,968
流動負債合計	11,907	13,034
固定負債		
繰延税金負債	2,532	3,145
退職給付に係る負債	148	177
その他	86	104
固定負債合計	2,767	3,427
負債合計	14,675	16,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150	4,150
資本剰余金	8,818	8,820
利益剰余金	40,501	41,088
自己株式	△3,923	△3,892
株主資本合計	49,546	50,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,022	6,976
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	319	457
退職給付に係る調整累計額	267	161
その他の包括利益累計額合計	6,609	7,593
非支配株主持分	146	245
純資産合計	56,302	58,005
負債純資産合計	70,977	74,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	25,105	24,001
売上原価	19,126	18,551
売上総利益	5,979	5,450
販売費及び一般管理費	4,153	4,269
営業利益	1,825	1,180
営業外収益		
受取利息	7	11
受取配当金	372	390
持分法による投資利益	38	28
為替差益	79	45
その他	31	24
営業外収益合計	530	501
営業外費用		
支払利息	1	0
手形売却損	1	0
休止固定資産維持費用	23	24
その他	1	1
営業外費用合計	27	27
経常利益	2,328	1,654
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	554	624
特別利益合計	555	627
特別損失		
固定資産除売却損	71	37
工場等移転費用	—	138
80周年記念行事費用	35	—
特別損失合計	107	176
税金等調整前四半期純利益	2,776	2,105
法人税、住民税及び事業税	588	341
法人税等調整額	223	245
法人税等合計	811	586
四半期純利益	1,964	1,518
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,961	1,526

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,964	1,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143	954
繰延ヘッジ損益	28	△0
為替換算調整勘定	107	90
退職給付に係る調整額	△40	△106
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	△8
その他の包括利益合計	△59	929
四半期包括利益	1,905	2,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,903	2,455
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、HISAKA MIDDLE EAST CO., LTD. の重要性が増したことにより、同社を連結の範囲に含め、また当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるマイクロゼロ株式会社及び旭工業株式会社は、2023年10月1日を効力発生日としてマイクロゼロ株式会社を吸収合併存続会社、旭工業株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。なお、マイクロゼロ株式会社は、株式会社日阪プロダクツに商号変更しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,004	11,466	3,565	25,036	69	25,105
セグメント利益	988	564	327	1,880	51	1,931

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,880
「その他」の区分の利益	51
のれんの償却額	△16
全社費用(注)	△92
棚卸資産の調整額	△0
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,825

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	熱交換器	プロセス エンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,866	9,352	3,716	23,935	66	24,001
セグメント利益又は損失(△)	954	△81	352	1,226	47	1,274

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,226
「その他」の区分の利益	47
のれんの償却額	△16
全社費用(注)	△86
棚卸資産の調整額	△5
その他の調整額	15
四半期連結損益計算書の営業利益	1,180

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報 (IR情報)

(1) セグメント別売上高

(単位:百万円)

項目	前四半期		当四半期		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度	
	2022年4月～2022年12月		2023年4月～2023年12月				2022年4月～2023年3月	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
熱交換器	(2,407)	(9.6 %)	(2,724)	(11.3 %)	(316)	(113.2 %)	(3,286)	(9.7 %)
	10,004	39.8	10,866	45.3	862	108.6	13,418	39.4
プロセスエンジニアリング	(1,669)	(6.6)	(1,752)	(7.3)	(82)	(105.0)	(2,700)	(7.9)
	11,466	45.7	9,352	38.9	△2,113	81.6	15,869	46.6
バルブ	(622)	(2.5)	(618)	(2.6)	(△3)	(99.4)	(822)	(2.4)
	3,565	14.2	3,716	15.5	150	104.2	4,696	13.8
その他	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	69	0.3	66	0.3	△3	95.4	90	0.2
合計	(4,699)	(18.7)	(5,095)	(21.2)	(395)	(108.4)	(6,809)	(20.0)
	25,105	100.0	24,001	100.0	△1,103	95.6	34,074	100.0

注. ()は海外売上高で内書であります。

(2) セグメント別受注高及び受注残高

(単位:百万円)

項目	前四半期		当四半期		増減金額	前年同期比	(参考)前連結会計年度		
	2022年4月～2022年12月		2023年4月～2023年12月				2022年4月～2023年3月		
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	
受注高	熱交換器	(2,823)	(10.6 %)	(4,598)	(16.1 %)	(1,774)	(162.9 %)	(3,449)	(10.0 %)
		10,920	40.8	13,437	47.0	2,516	123.0	14,059	40.6
	プロセスエンジニアリング	(2,679)	(10.0)	(1,015)	(3.5)	(△ 1,663)	(37.9)	(3,015)	(8.7)
		11,815	44.2	11,155	39.0	△ 660	94.4	15,536	44.9
	バルブ	(742)	(2.8)	(730)	(2.6)	(△ 12)	(98.4)	(879)	(2.5)
3,926		14.7	3,928	13.8	2	100.1	4,934	14.2	
その他	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	69	0.3	66	0.2	△ 3	95.4	90	0.3	
合計	(6,244)	(23.4)	(6,343)	(22.2)	(99)	(101.6)	(7,344)	(21.2)	
	26,731	100.0	28,587	100.0	1,855	106.9	34,621	100.0	
受注残高	熱交換器	(2,123)	(10.5 %)	(4,085)	(16.9 %)	(1,962)	(192.5 %)	(1,871)	(9.7 %)
		5,125	25.2	7,761	32.1	2,636	151.4	4,850	25.2
	プロセスエンジニアリング	(3,173)	(15.6)	(1,742)	(7.2)	(△ 1,431)	(54.9)	(2,478)	(12.9)
		13,741	67.6	14,862	61.5	1,121	108.2	13,059	67.9
	バルブ	(281)	(1.4)	(330)	(1.4)	(48)	(117.2)	(218)	(1.1)
1,449		7.2	1,540	6.4	90	106.2	1,327	6.9	
その他	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	(5,578)	(27.5)	(6,158)	(25.5)	(579)	(110.4)	(4,568)	(23.7)	
	20,316	100.0	24,164	100.0	3,848	118.9	19,237	100.0	

注1. ()は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。

2. 「熱交換器」の当四半期末の受注残高は、当四半期末より連結の範囲に含めたHISAKA MIDDLE EAST CO., LTD.の当第3四半期累計期間末の受注残高を含めて表示しており、前連結会計年度の受注残高から当四半期の売上高、受注高を加味した金額とは一致しません。